

【事業実績】

1. 動物モチーフをテーマとした中国古代青銅器の特集展示

(2) 青銅器館内における特集展示の開催（会期：9/9～10/15、11/3～12/10）

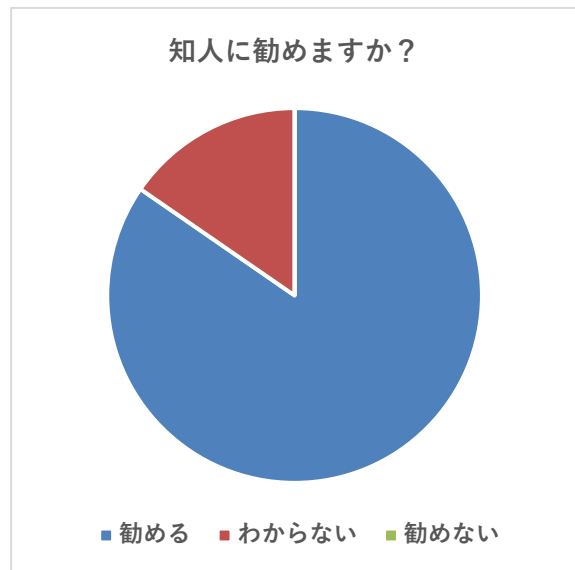
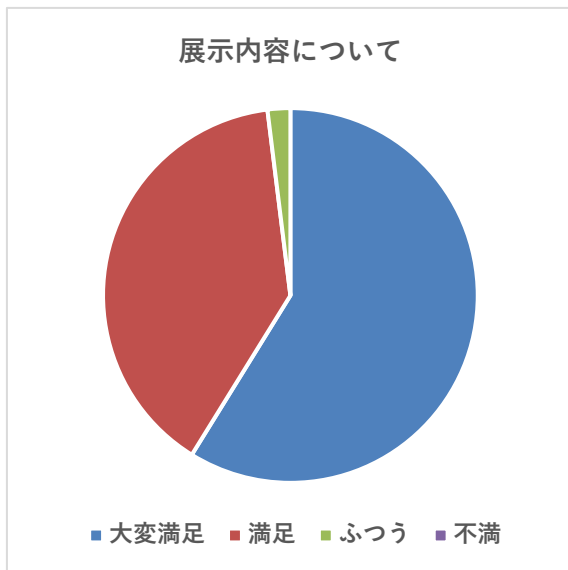
今から約 3000 年前の中国殷周時代につくられた青銅器には、さまざまな実在の動物がモチーフとして登場し、当時の人々によって重視されていた。こうした動物モチーフを観賞の切り口として提示することで、はじめて中国古代青銅器を目にする来館者、特に若年層に親しめるように工夫した特集展示を開催した。



【入場者の声】

親しみやすい動物園とのコラボが良かったです。青銅器にはあまり興味を持つことがなかったのですが、動物のどんな特徴を取り入れているのかと興味を持って見ることができました。

【展示に関するアンケート結果】



2. 中国古代青銅器のデジタルコンテンツ制作

(2) デジタルコンテンツ公開



青銅器館内の VR を館の公式 HP 上にて公開し、バーチャルで青銅器の展示を観賞できるようにした。また後述のクロストークの様子を撮影した動画もオンラインで公開し、展示内容に対する理解が深められるように工夫を加えた。

3. 京都市動物園との共催イベント

(1) 子供向け特別鑑賞会 (10/28)

小学校高学年の親子を対象に、京都市動物園と泉屋博古館の2施設を見学し、まず実際の動物の特徴を観察したうえで、続いて動物をモチーフとした中国古代青銅器を鑑賞することで、中国古代の人々がどのように動物を観察し、それを青銅器のデザインとして昇華させていったのかを追体験するイベント。京都市動物園園長と泉屋博古館学芸員もアテンドし、適宜解説を加えることで、より深い学習効果が得られるように工夫した。



【参加者の声 (抜粋)】

動物園では園長先生、博古館では学芸員の先生から解説いただき、とても貴重ですばらしい経験をさせていただきました。子ども達のためにもとても勉強になりました。入場料だけでは申し訳ないほどでした。ありがとうございました。

(2) クロストーク (10/21、11/18)

京都市動物園園長と泉屋博古館学芸員が、それぞれの専門である動物学、考古学の立場から中国古代青銅器の見どころを解説するクロストークイベント。京都市動物園、泉屋博古館のそれぞれで1回ずつ開催。



(3) デジタルスタンプラリー (開催期間 9/9~12/10)

京都市動物園と泉屋博古館のそれぞれに3カ所ずつのマーカーを設置し、それらをスマホのアプリでスキャンしてスタンプを集め、6つのスタンプをすべて集めると中国古代青銅器のARフォトフレームがもらえるデジタルスタンプラリー。



【参加者の声 (抜粋)】

QRコードを読み込んで、スタンプラリーをするというのは、とても面白かった。特典等も小さい子たちやお年寄りの方々まで喜んでくれるようなものがあると、みんなもっとやろう!と思うのかなと思いました。素敵な企画を見せていただき、ありがとうございました!